|  |  |
| --- | --- |
| 映像教材活用プログラム②（40～60分程度） | 乳幼児・親の関わり方のポイント |
| **http://kids.wanpug.com/illust/illust864.png　　もう飽きたの？** | 媒体 | ＶＨＳ |
| 時間 | 14分 |
| 整理番号 | Ｓ00502 |
| 本プログラムのねらい | 期待される効果 |
| ○日頃の子供とのコミュニケーションを振り返り、関わり方のタイプを理解する。○子供との遊び方について、他の保護者と意見交流する。 | 我が子の行動に、つい口を出し過ぎてしまったり、過剰に不安を感じたりしている保護者が、**ゆとりと自信を持って我が子と関わることができる**ようになる。 |
|  |
| 活動の主な流れ（映像教材の内容） | 運営上の留意点 |
| １　ビデオを視聴前に、ワークシートを使って、子供に対する日頃の関わり方について振り返る。（５分）**（例）このチェックリストは、これから見るビデオに出てくるリストです。ふだんの生活を****思い出しながら、「はい」か「いいえ」のいずれかに○をつけてみましょう。** | ・人数分のワークシートを準備しておき、配布しておく。　http://kids.wanpug.com/illust/illust3529.png |
| ２　ビデオを視聴する。（15分）**（例）ビデオを見た後で、感想を話し合います。共感したり疑問に思ったりしたことなど****があれば、どんどんメモをしておきましょう。**【ビデオの概要】○オープニング（司会と講師による対談形式）○幼児期の特徴と親の関わり方のポイント（3′50″～）　・個性を理解し、他の子と比べない　・幼児期のタイプ（衝動型・熟慮型）　・過保護、過干渉、放任の問題○我が子に対する態度のチェック（7′40″～）　・配慮型チェックと圧力型チェック　・自分の我が子に対する関わり方の傾向を理解し、意図的に生活に生かすことが大切○遊び方の秘訣について（10′35″～）　・「ごっこ遊び」の達人になりましょう○エンディング（講師によるまとめ）（13′10″～） | http://kids.wanpug.com/illust/illust3527.png衝動型・熟慮型・過保護・過干渉・放任等のキーワードについては、予めカードにしておき、ビデオに合わせて黒板等に掲示しておくと、話し合いに役立つ。ビデオに合わせて、◇配慮型・高＋圧力型・高⇒過保護◇配慮型・低＋圧力型・高⇒過干渉◇配慮型・低＋圧力型・低⇒放任　等掲示しておくとよい。 |
| ３　ビデオ視聴後の感想を交流する。（２０分～４０分）・グループごとに印象に残った言葉などを述べ合う**（話し合いを深める言葉かけの例）****・お子さんと、どんなごっこ遊びをしていますか？　また、どんなごっこ遊びが好きですか？****・ふだんの遊びに、どんな工夫をしていますか？　また、どんな工夫ができそうでしょうか。** | ⏩「エンディングプログラム」参照 |